

平成 21 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録(抜粋)

日時：平成 21 年 10 月 2 日（金） 17:30～21:00

場所：社会基盤工学専攻大会議室

出席者：竹内会長，池田(1 期)，高瀬(2 期)，遠山(5 期)，横田(6 期)，藤田(7 期・東京支部)，伊藤(11 期)，日比野(12 期)，鳥居(13 期・関西支部)，田中(13 期)，磯部(14 期)，大東(16 期)，岩田(18 期)，水谷(19 期)，加藤(20 期)，中野(24 期)，野田(25 期・幹事長)，鈴木(26 期)，浜口(27 期)，加藤(28 期・副幹事長)，川崎(29 期・名簿)，荻野(30 期)，井上(31 期・しゃち)，葛西(32 期・広報)，三輪(34 期・会計)，田代(36 期・会計)，田賀(38 期)，上田(39 期・名簿)，赤根(43 期)，上山(45 期)，後藤(46 期)

役員会に先立ち，会長挨拶および幹事自己紹介があった。

報 告

1. 平成 21 年度上半期会計報告 (三輪)
 - ・平成 21 年度上半期(2009.9.30 締)の支出状況について，留学生支援費，第 3 回懇親会補助，名古屋大学基金寄附金拠出などの説明があった。
 - ・名古屋大学基金寄附金拠出に対しては，名大から感謝状の贈呈があったことが報告された。
2. 会費納入状況について (田代)
 - ・9 月現在の各期納入状況一覧が示され，説明があった。
 - ・平成 20 年度から郵便振替用紙を今会計年度分と未納分に分けたことにより，初めて納入する会員が増加したと考えることが，あらためて紹介された。
 - (・各期幹事は引き続き同期会員に会費納入をお願いしてください。)
3. 後援基金報告 (中村代理：野田)

21 年度上半期の支出状況について報告があった。詳細は，特別講演謝礼 0 件，博士論文印刷補助 0 件，永久会員資格権利(15,000 円)授与 2 件。なお，永久会員資格権利授与については，今年度より補助金ルールが変更されたことによるが，このため，基金より，本部会計へ 30,000 円移動。
4. 教室近況報告 (中野)
 - ・前回役員会からの教室の人員配置の変更等として，中村友昭講師の高等研究院への着任(6 月 1 日)，浅野美帆助教の着任(10 月 1 日)が報告された。
 - ・教室では JABEE 更新のため，本年 11 月に実地審査を受ける。
5. 支部活動報告 (鳥居)
 - 1) 関西支部

- ・現状および今後の方針を検討したい旨説明があった。
- 2)東京支部 (藤田)
- ・現在今後の支部活動のあり方が検討されている旨説明があった。
 - ・21年度の支部総会の開催は未定。
両支部に共通して、活動活性化のためには40歳代の存在・役割の重要であることが指摘された。
6. 学生会活動報告 (村井代理：上山)
- ・21年度上半期活動報告(会計報告含む)として、恒例の名大祭土木展に加え、土木系教室合同新入生懇親会(院生77名と教員14名参加、本部会計から99,390円補助)を実施したことが報告された。
 - ・今後、研究室対抗ソフトボール大会(10月4日)および就職試験対策ゼミの開催予定が説明された。
7. 鏡ヶ池会懇親会(7月3日)報告 (野田)
- ・特別講演会(講師：中村英樹教授)および第3回懇親会が、愛知県の名大OBの協力のもと盛会であった旨(参加者118名(内、名誉教授3名、学生13名))、収支報告(本部会計より33,562円補助)とともに報告された。
8. その他
- ・伊藤幹事(11期)より、本部同窓会のモンゴル支部立上げおよび東京・関西支部活動、名大創立70周年・創基138年記念式典(10月17日)、ホームカミングデイ(10月24日)開催などが紹介された。なお、鏡ヶ池会から名古屋大学基金への寄附に基づき、70周年記念式典時に合わせて、豊田講堂に「名古屋大学土木系同窓会鏡ヶ池会」の銘板が設置される。
 - ・加藤副幹事長(26期)より、ホームカミングデイ時に環境学研究科同窓会の立上げが行われることが紹介された。

議 事

1. 幹事・役員の変更・追加 (野田)
- ・役員・幹事の変更・追加が承認された。
会員担当(名簿):小塩卓哉(追加),しゃち担当:北根安雄 中村友昭,22期:若杉直彦 加藤隆史(以上,敬称略)が承認された。なお,次の二つの期の変更は役員会後に追加。
21期:平林直文 後藤徳善,42期:板橋一志 中村(旧姓:菊)雅美(以上,敬称略)。
2. 平成21年度第1回鏡ヶ池会役員会議事録(案) (野田)
- 平成21年度第1回役員会後のメール審議(会員担当・しゃち・広報等に関する事務職員採用)による了承の件を含め、議事録案が承認された。
3. 「会員名簿 No.45」編集経過報告 (川崎)

- ・ No.45 の編集の今後のスケジュールが説明され、了承された。なお、各期幹事による初校修正提出期限は 10 月 16 日。
 - ・ No.44 編集時に見られたスパムメール誤判断によるメールサーバー不能事態は発生しなかった旨も紹介された。
4. 「しゃち No.50」編集経過報告・しゃち広告依頼 (井上)
- しゃちの編集経過およびしゃち広告依頼が説明され、了承された。
- ・ しゃち 50 号記念として行う特集(卒業生からの提言(名大土木系教室への期待))には、35 期から推薦いただいた。
 - ・ しゃち広告は 58 社に依頼し、5 社掲載予定。
5. 女子の会 OG との交流会 (田代)
- ・ 名大土木卒業 OG と女子学生の交流会を鏡ヶ池会の正式行事として実施したいことの説明とともに費用補助について支援依頼があり、了承した。5 万円程度/年を上限として補助することとする。
 - ・ 今後は、全国土木系女子の会および全国女子土木技術者の会とも連携をしてゆくことも視野に入れている点も説明された。
6. 会計：新会計システム移行への方針と提案 (田代)
- ・ 前回役員会における議論に従い、会長・幹事長・会員担当(会計)で検討した会計システムの方針案および将来予算の変遷シミュレーションが提示され、次の 3 点を了承した。(1) 正会員費の一律化(学生会員費の見直しを含む)と納入サイクルの単年度化、(2)プレミアム会員の導入、(3)コンビニ(郵便局併用)収納代行サービスの導入。
 - ・ なお、次回総会での承認に基づく新会計年度からの新会計システム運用のために、具体的な会費額や現会計システムからの移行期間/移行措置を含む詳細案を会長・幹事長・会員担当(会計)で検討し、次回役員会で提示することとした。また、今後の会員による持続的な会費納入を期待するためにも、特に学生会員に対しては同窓会活動のアピールによる会員の帰属意識向上策を引き続き講じる必要があることを確認し、新に鏡ヶ池会会長の卒業記念パーティ出席などが提案された。
7. 「銀しゃち」刊行企画(第 2 次案)について (竹内)
- ・ 今後増加するリタイア(またはシニア)世代会員への同窓会サービスとして、意見・文芸的成果を発表し交歓する場としての同人誌的オピニオン誌発刊の趣旨、企画概要(刊行間隔、冊子規模、配布対象、編集者、配布作業)および費用概算について説明がなされた。学生会・女子の会・留学生支援などと並ぶ会員サービスの一環と考えられることから、発刊の方針が承認され、同窓会活動の一つとして位置付ける(役員会報告要)こととした。
 - ・ また、今回の役員会で出された意見(ヤング世代会員への配布の有無を含む配布方法、名大創立 50 周年記念事業も視野に入れた発刊時期、プレミアム会員費との関連性・有料投稿を含む費用など)に対する検討を行い、次回の役員会に詳細案を提示することとした。

次回役員会：平成22年4月9日（金）または4月16日（金）のどちらかで調整し，1月中旬までに幹事長から役員会メンバーにメールで連絡することとした．ただし開始時間は17:30～．

以上